

理学療法学生の実習・模擬臨床実習を通じた老人への態度の改善

苗村美樹 | 愛知医療学院 理学療法士

本研究は、理学療法士教育プログラムにおける、老人に対する学生の態度が、① 専門家の指導下のクラス討論、② 老人模擬臨床 (GMC) という二つの方法によって良い方向に変化するかどうかの試みである。

大学専門課程1年生47人を対称に比較群(24)と実験群(23)に分けて行なった。比較群は臨床実習のみ(4時間/日、1日/週、4週×2回)を行ない、実験群は臨床実習(同じ頻度で5週×1回)とGMC(3週×1回)を行なった。GMCは実際に脳血管障害などの既往歴をもちながら、自立した生活をしている患者に対して、学生役・指導者役に分かれて接し、その後、態度・治療に関する指導・討論を繰り返す行なうものである。

両グループとも老人への態度を測定するためKoganのスケールを用いて、実習前後にテストを施行した。これは、老人に対する認識などの正・負の相対する17項目、計34項目の質問に答えることによって老人に対し、正および負の評価を得点に示すものである。高得点はどちらに対しても、その強い肯定を示している。結果は、全体的には両テストともに両者間の明確な違いはなかった。しかし、正の点数は両者とも増し、負の点数は実験群で明らかに減り、比較群では変化がみられなかった。GMCにおいて好感のもてる老人と接したこと、クラス討論、即時のフィードバックが改善に導いたと考えられる。

実験群で得点は改善し、われわれの考えは立証されたが比較群にも変化が見られたことから、従来の実習もこれに関与し、積極的に協力的老人を担当させる、積極的に老人に取り組む指導者、実習前後に態度に関する討論を促す、年齢ではなく病理学的違いによる患者管理の指導、等の事が、より有効にすると考える。

この研究は、患者を使った練習や相互関係を考えられる環境の設定が、増加する老人患者のニーズに応じられる学生、結局は理学療法士を生み出すであろうことを示唆している。

Brown DS, et al : Improvement in attitudes toward the elderly following traditional and geriatric mock clinics for physical therapy students. Phys Ther 72 : 251-260, 1992

顎関節の関節鏡下手術後の治療

坂口勇人 | 愛知医療学院 理学療法士

側頭下顎関節(以下、TMJ)の動きは、滑り運動と転がり運動によって関節窩上での骨頭の回旋と関節窩前方部への移動の二つの動きであり、この動きによって開口運動を行なっている。開口運動の制限は、骨頭の移動が制限される方向に関節円板が脱臼し癒着した結果起こる。

症例は17歳の女性で、7年間射撃を行なっていたことから、これが障害の重要な病因であると考えられた。手術としては関節鏡下にて癒着部分を除去した。

術後4週目の初期評価として、以下の結果が得られた。

- ① 頸椎の機能異常: C_{2/3,3/4} 側屈, 回旋制限
- ② 自動的顎開口距離: 36 mm
- ③ 疼痛: 両側 TMJ・咬筋・後頭骨下筋群の圧痛, 開口時痛

- ④ 腫脹: 両側 TMJ

- ⑤ 異常姿勢: 円背で顎の前方突出

よってゴールを次のように設定した。

短期ゴール: 2~4週で筋と側頭下顎関節の痛みの除去

長期ゴール: 8~12週で痛みの除去, 頸椎・顎のROM改善, 腫脹の除去

理学療法としては、物理療法(電気刺激・温熱・超音波・寒冷療法)および、モビリゼーション(持続的な離開, 開口させながらの圧迫)をその症状に合わせて実施した。また、自主プログラム(正しい顎の開口, 舌の位置, 立位姿勢の矯正, 顎の伸張, リズミックスタビリゼーション)も指導した。

16週間の治療後、痛みおよび機能の制限は消失し、顎開口距離も50mmに改善し、理学療法を終了した。

術後一年半後、追跡調査として再評価を行なった結果、治療終了時と同様の結果が得られた。顎の開口距離は54mmになっていた。

この症例報告は、関節内の病変と包外の痛みをもつ患者の治療に役だつと考えられる。

Waide FL, et al : Clinical management of a patients following temporomandibular joint arthroscopy. Phys Ther 72 : 355-364, 1992

テニス肘の治療における低出力レーザー治療と伝統的物理療法の比較

工藤 俊輔 | 秋田大学医療技術短期大学部 理学療法士

本研究は、テニス肘に対し、パルス式超音波治療と深部マッサージと組み合わせた伝統的な物理療法とレーザー治療を実施し、その効果を比較したものである。

方法：対象は17名の女性と13名の男性で平均年齢が45.5歳である30名のテニス肘の患者であった。被験者は、発症後平均3.6か月を経ていた。被験者からは上腕の放散痛のある者や慢性関節リウマチ、その他神経原性および筋原性、関節原性の疾患は除かれた。30名の患者群は、ほぼ均一に二つの治療グループに分けられ、計8回の治療を受けた。そして、治療の前と終了後、さらに4週間後に患者の主観的評価と客観的な評価が成され、その効果が検討された。レーザー治療は患部に 3.5 J/cm^2 照射され、パルス式超音波は平均 0.32 W/cm^2 照射、深部マッサージは10分間実施された。治療の評価は、① Visual analogue scale による主観的評価、② 患肢の握力測定の変化と手関節の伸展に対する抵抗の強さの変化という客観的評価、③ 治療終了後のアンケートによるフォローアップ調査で検討した。

結果：① Visual analogue scale を用いた主観的評価では、伝統的物理療法もレーザー治療も治療前と比較して治療後は痛みが大きく減少していた。② 患肢の著しい握力の改善が伝統的物理療法にもレーザー治療にも認められた。患肢に対する抵抗テストでは、前者は、治療開始時と治療終了時、治療開始時と最終評価時、治療終了時と最終評価時のいずれの比較でも有意な変化が認められた。しかし、レーザー治療では治療開始時と最終評価時の比較のみでしか有意な変化は認められなかった。③ アンケート調査では、伝統的物理療法の6名(46%)、レーザー治療の6名(40%)がその後も治療を受けていた。以上のことより、この研究では、レーザー治療は伝統的物理療法より効果的だとは言えないと結論付けられた。著者は、今後、レーザー治療の科学的検討と妥当な照射量の検討が重要であると述べている。

高齢女性の握力、上肢の能力低下、社会的不利の相互関係

進藤 伸一 | 秋田大学医療技術短期大学部 理学療法士

本研究の目的は、高齢女性の握力、上肢の能力低下、社会的不利の相互関係、ならびに、機能的活動遂行に必要な、最低の握力の目安を明らかにすることである。

対象は、デイセンターに通っている、上肢に病理学的問題の無い18例の女性で、平均年齢は 78.9 ± 9.9 歳である。機能障害である握力低下の程度は、握力計での測定値を前腕の総容積で割った値で求めた(単位 N/m^2)。上肢の能力低下の程度は、柄付き鍋を失敗しないで操作できる最大の重量と、Martinらの手の器用さ能力スケールを用いて評価した。社会的不利の程度は、ノーチンガム健康プロフィールの中の6項目について自己評価したものをを用いた。

結果を要約すると、次のようであった。① 年齢と今回検討した要因との間には相関がみられなかった。② 握力と鍋操作能力との間には相関がみられた($r=0.793$)。③ 握力と器用さ能力との間には相関がみられた($r=0.725 \sim 0.753$)。④ 握力と健康自己評価との関係では、疼痛と移動能力の項目でのみ、それぞれ相関がみられた($r=0.577, r=0.721$)。⑤ 鍋操作能力と器用さ能力との間には相関がみられた($r=0.733 \sim 0.822$)。⑥ 鍋操作能力と健康自己評価との関係では、移動能力の項目でのみ相関がみられた($r=0.679$)。⑦ 握力の程度が 0.10 N/m^2 以下では、鍋操作能力や器用さ能力などが明らかに低下していた($p < 0.01$)。

以上から、握力低下と上肢の能力低下との間には強い相関があるが、握力低下・上肢の能力低下と社会的不利との間には、必ずしも強い相関があるとは言えなかった。これは、社会的不利には他のいろいろな要因が影響を及ぼしていることを示している。また、握力の程度が 0.10 N/m^2 以上の者は、鍋操作ができたが、それ以下の者はできなかった。このことは、握力の程度が 0.10 N/m^2 以下では、器具を用いたり、器用さが要求される調理などの日常生活動作が、自立できない可能性のあることを示している。

Vasseljen O : Low-Level laser versus traditional physiotherapy in the treatment of tennis elbow, Physiotherapy 178 : 329-334, 1992

Turner DP, et al : Relation between handgrip strength, upper limb disability and handicap among elderly women. Clin Rehabil 6 : 117-123, 1992